

南信州広域連合第10回広域連合会議 結果報告

日時:令和8年1月16日(金) 15:45~16:50

場所:県飯田合同庁舎 301号会議室

【出席者】13市町村長（高森町長欠席）副管理者
〔長野県建設部リニア整備推進局〕小池所長
〔南信州地域振興局〕岩下局長
〔飯田建設事務所〕折井所長
〔飯田保健福祉事務所〕岩本所長
〔愛知県と市交通局〕石原課長
〔下伊那郡町村会事務局〕岡庭局長
〔飯田広域消防〕下平消防長、新井消防次長兼総務課専門幹、熊谷消防次長兼総務課長
〔環境センター〕松下事務長
〔事務局〕吉川事務局長・滝沢事務局次長兼総務課長
乾地域医療福祉連携課長兼医療福祉連携係長・壬生広域振興係長
渡邊広域振興係企画調整担当専門主査
熊谷補佐兼庶務係長・久保田庶務係主事・幾島庶務係主事

1 開会…14:00

2 広域連合長挨拶

1月14日のJR東海との意見交換会では、地元自治体として2026年中の静岡工区の着工を期待したいという話を挨拶の中でした。会議の中でもJR東海の澤田専務から静岡県との対話について手応えを感じているというお話もあったため、地元自治体としては期待を待ちたい。報道では衆議院議員選挙が近いということで、各市町村選挙事務の準備に追われていることと思う。飯田市でも職員の兼務などの準備を進めようとしているが、なかなか大変だなというのが正直なところ。阿智村長は、ダブル選挙の可能性もある。突然の解散報道があり、19日には高市首相から何か話があるということだが、選挙事務を担う立場としては、遺漏のないようにしないといけない。また、1月末をもって喬木村の市瀬村長がご退任ということになる。当地域の発展のために長年ご尽力いただいたことに、市町村長を代表して御礼を申し上げたい。

(1) リニア中央新幹線について

【南信州地域振興局宮島副局長】～資料 No.1～

令和7年12月18日に大鹿村でリニア連絡協議会を開催、令和8年1月14日にリニア関係市町村長とJR東海幹部との意見交換会を実施。今後の予定としては、2月3日に南木曾町リニア中央新幹線対策協議会を開催。

【JR東海中央新幹線長野工事事務所小池所長】～当日資料～

大鹿村で令和7年12月15日にリニア連絡協議会を実施。その他に12月22日から28日に「教えて！リニアのリアル」第17弾を飯田ケーブルテレビで作成し放送。令和8年1月7日に阿智村で長野県阿智高等学校で出張授業を実施。また、同1月7日に高森町の工事現場の仮囲いに子どもたちの絵を展示する取り組み「下伊那の未来を描こうプロジェクト」を実施。

(2) 三河港ポートセミナーin 飯田の開催について

【愛知県と市交通局港湾課石原課長】～資料 No.2～

「三河港ポートセミナーin 飯田」の開催について資料を元に説明がなされた。

催事名：「三河港ポートセミナーin 飯田」

日時：令和8年3月26日（木） 13時30分～15時50分

会場：エス・バード

「中部横断自動車道の地域経済への波及効果」（基調講演）

武藤慎一山梨大学大学院総合研究部工学域土木環境工学系教授

山梨大学地域防災・マネジメント研究センター長

「三河港の活用事例の紹介」

佐藤実三河港振興会事務局長

「三河港への期待」

原勉飯田商工会議所会頭

後藤高一喜久水酒造株式会社社長

(3) 飯田市水素利活用ビジョンについて

【島崎飯田市ゼロカーボンシティ推進課長】～資料 No.3～

飯田市の水素利活用ビジョンについて資料を基に説明がなされた。

(主な意見等)

副連合長：県が主導して、サウンディング型市場調査を行い、飯田下伊那地域のリニア中央新幹線及び三遠南信道の開通に向けての地域のランドデザインを描こうとしている。このランドデザインと水素に関して飯田市が目指すものがどういう形で共存をするのかということをお聞きしたい。またこの計画の中に記載されている水素についてはグリーン水素のことだけではなく電気を使って作る水素の活用することも一緒に考えているのか。信州大学が進めているグリーン水素については、実用化までにはどのくらいのスパンがあるのかについてもお聞きしたい。

連合長：県のサウンディング調査と水素の話は今のところ直接結びついていないと思う。長野県が進めている信州産業水素推進ネットワークという水素の利活用の会議があり、この計画はそちらのプロジェクトの第2弾に位置づけられている。飯

田商工会議所で考えている水素ステーションもグリーン水素のほかに電気分解のグリーン水素をセットで考えており、いわゆるグレー水素も使うことが視野に入っているというふうに思っている。必ずしもグリーン水素に限定しているというわけではない。信州大学の研究の実用化は、研究期間としては10年を掲げている。まずは5年間で中間評価があり、その先5年間も国の交付金を受けてやりたいというのが大学の希望になっており、プランとしては10年ほどの視野で実用化に耐えうる内容にしていきたいという状況。

(4) リニアの整備効果を地域振興に活かすビジョン(案)を具現化する「まちの未来図(案) たたき台」について **【澤柳飯田市企画課長】** ～資料 No.4～

リニアの整備効果を地域振興に活かすビジョン(案)を具現化する「まちの未来図(案) たたき台」について資料を基に説明がなされた。

(主な意見等)

根羽村長：我々が意見を言える部分は限られてくると思うが、こういった計画は積極的に子どもにも見せて、開示していただき、例えばリニア駅周辺に対してこんな思いがあるということなどの意見交換ができる場もこれから作っていただければと思う。

阿智村長：根羽村長と同じ意見。この計画の絵は了解をとれば我々が使ってしまってもよいか。

連合長：ホームページに掲載して意見を求めているもの。飯田市が公表しているものということが分かるようにしていただければ。

(5) 南信州民俗芸能パートナー企業の新規協定締結について

【壬生広域振興係長】 ～資料 No.5～

南信州民俗芸能パートナー企業の新規協定締結について資料を基に説明がなされた。

(7) 協定締結企業・団体

株式会社原山組

柴田化学株式会社

株式会社 ASTROBERRY

(4) 協定締結・登録証交付式

日時：令和8年2月19日(木) 13時30分～14時10分

場所：飯田合同庁舎3階 302号会議室

(6) 介護のしごと相談会について（報告）【乾地域医療福祉連携課長】 ～資料 No.6～
介護の仕事相談会について資料を基に報告がなされた。

(ア) 日時：令和7年12月20日（土） ①10時～12時 ②13時～15時

(イ) 会場：エス・バード A 棟 2階 ホール

(ウ) 出展ブース：22 団体（事業所 20、協力団体 2）

(エ) 来場者：27 人

(オ) 相談延べ件数：59 件（1 ブース平均 2.7 件、1 人あたり 2.2 件）

参加者は、10 代 3 名を含めて幅広い年齢層の参加があった。今回は広報活動として、阿南高校及び飯田短期大学に出向き説明を行うとともに介護保険事業者連絡協議会を通じて資格講座の受講者に案内を行った。今後の予定として、3月上旬に今回のしごと相談会の事後調査を行う。また、令和8年度第1回の介護のしごと相談会を令和8年6月27日（土）に開催を予定している。

→質疑等なし

(7) 旧桐林クリーンセンター解体工事の工期について

【松下飯田環境センター事務長】 ～資料 No.7～

旧桐林クリーンセンター解体工事の工期について資料を基に説明がなされた。

(ア) 経過

令和7年10月に解体工事の定例会にて施工状況の報告があり、「現行の工程では工期内に完了ができない可能性が高い」旨の報告。JV 内で工程の見直しなどを行ったが、契約工期内での完了は困難とのことで、解体工事業者から後期延期届が令和8年1月8日に提出された。工期の変更については、地元地区へ令和7年12月12日に行い同意を得ている。

(イ) 工期変更の期日

当初：令和6年6月28日から令和8年2月28日まで

変更：令和6年6月28日から令和8年3月27日まで

(ウ) 今後の対応

令和8年2月25日 広域連合議会第1回定例会終了後に全員協議会において報告

(エ) その他

セイコーエプソンへの引き渡し時期は令和8年4月と定めているが、解体工事は3月中旬までには完了する見込みのため影響はない。

(8) 飯田広域消防から

【新井消防次長、熊谷消防次長兼総務課長】～資料 No.～

高森消防署新庁舎竣工式について資料を基に説明がなされた。

日時：令和8年2月3日（火）14時から

続けて、令和7年における火災救急救助の出動件数について資料を基に説明がなされた。

(ア) 出火件数：57件（前年度比9件減で統計開始以降過去最少）

死者4名、負傷者4名

(イ) 救急出動：8,534件（前年度比29件減）

搬送人員8,118名で統計開始以降過去最多

(ウ) 救助出動：110件（前年度比6件の増）

山岳救助隊出動5件

(9) その他

(ア) 後援依頼

催事名：オーケストラとともに2026

主催者：オーケストラとともに音楽祭実行委員会

期日：令和8年5月3日から5月6日

会場：飯田文化会館ほか

共催団体：公益財団法人名古屋フィルハーモニー交響楽団ほか

(イ) 人工光合成研究と水素の社会実装に関する講演会について

内容：「南信州の最先端人工光合成においているグリーン水素研究が世界を変える」

日時：令和8年2月15日（日）10時から

会場：エスバードホール（YouTubeでのオンライン配信あり）

講演者：信州大学堂免教授、環境省長谷川室長

4 長野県から

(1) 南信州地域振興局【岩下局長】

長野県独自の経済対策について1月補正予算の内容を中心に資料を基に説明がなされた。

(2) 飯田建設事務所【折井所長】

1月補正予算のうち公共事業などにかかわる内容について説明がなされた。

(3) 飯田保健福祉事務所【岩本所長】

特になし

5 当面の日程について

2月12日(木) 10時00分 第1回定例会開会日(はにかむベース多目的ホール)

2月17日(火) 広域連合会議(飯田合同庁舎講堂)

2月25日(水) 10時00分 第1回定例会閉会日(はにかむベース多目的ホール)

6 その他

喬木村長退任挨拶

喬木村長：退任まであと10日余りとなりいよいよだなというふうに思っている。村長として12年間、職員の期間を含めて45年間地方行政の一端に携わらせていただき、大過なく任を終えようという時が近いということで、本当に感無量。こうしていただけるのも、本日も集まりの皆様のご支援ご協力があったからと、そのご厚情に心から感謝申し上げます。まもなく新しいリーダーがこの席に仲間入りをさせていただく。ぜひご指導ご鞭撻をいただき、地域づくりのために、しっかり働けるように、お力添えをいただければありがたいなというふうに思う。本当に長い間お世話になりました。ありがとうございました。

7 閉会…16:30